

プレスリリース

2023年2月9日
国境なき医師団 (MSF)

ブルキナファソ：MSF スタッフ 2 人の殺害を最も強い言葉で非難

ブルキナファソ北西部のブクル・デュ・ムウン地方で 2 月 8 日、国境なき医師団 (MSF) のスタッフ 2 人が殺害された。MSF は看過できない事件を最も強い言葉で非難し、同地方での医療活動を停止している。

人道援助に対する攻撃

2 月 8 日の朝、デドゥグとトゥガンをつなぐ道路で、医療チームの 4 人を乗せた MSF の車両に対し、武装した男らが発砲した。乗っていたスタッフ 2 人が死亡し、他の 2 人は車両から脱出し逃げ延びた。

亡くなった 2 人はブルキナファソ出身で、1 人は 2021 年 7 月から運転手として、もう 1 人は 2020 年 6 月からロジスティクス・チームリーダーとして MSF に雇用されていた。それぞれ享年 39 歳と 34 歳であった。

「私たちはこの殺人に衝撃を受け、憤っています。これは、明確に人道援助団体による医療活動に対する意図的な攻撃です」と MSF 会長で医師のイザベル・ドゥフルニーは非難する。「私たちにとっての優先事項は、生き残った 2 人のスタッフと、殺害されたスタッフの家族や友人のサポートです。また、全ての紛争当事者と対話をし、真相を明らかにしていきます」

医療活動を停止せざるを得ない事態に

この悲劇的な事件の詳細が明らかになるまで、MSF はブクル・デュ・ムウン地方の活動を停止している。

ブルキナファソは、複数の過激派武装組織と政府軍の間で起きた暴力や戦闘の結果、200 万人近くが避難し、前例のない政治的混乱、治安の悪化、そして人道危機に直面している。

2022 年 7 月から 12 月にかけて、MSF はブルキナファソで国内 4 つの地域で活動し、約 40 万件の基礎診療を行い、約 4300 人の分娩を介助した。

以上



本件に関するお問い合わせ先：

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当：舘 俊平、山田瑞穂

携帯：080-2344-0684

E-mail: press@tokyo.msf.org <https://www.msf.or.jp>

 メディア向けツイッターアカウント：@MSFJ_Press